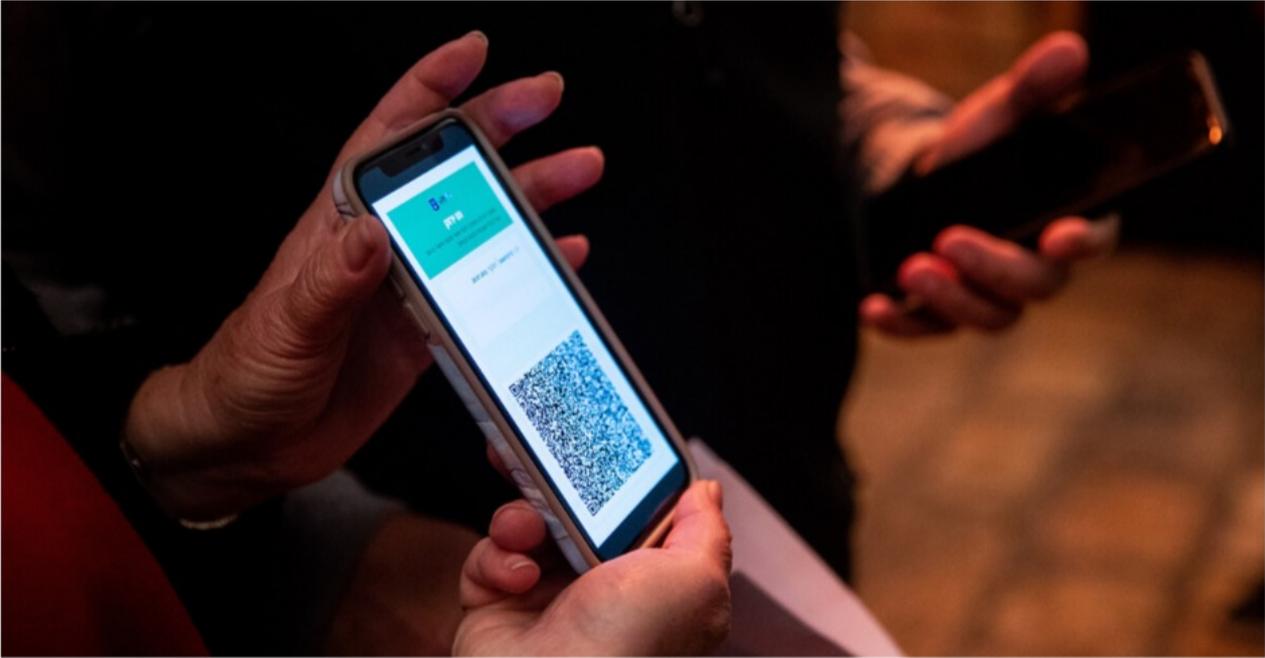


イスラエルとバーレーンの人々は、ブースターショットを受けないと予防接種のステータスを失うリスクがあります

R RTMスタッフ - 2021年10月14日



COVID-19ワクチンブースターショットの対象であり、ワクチン接種ステータスを失うリスクがないイスラエルとバーレーンの居住者は、レストランからショッピングモールまですべてにアクセスできます。

イスラエルは、個人がホテル、映画館、ジム、レストランから礼拝所まであらゆるものに入ることができる「グリーンパス」デジタル予防接種パスポートの要件をブースターショットにした最初の国でした。

10月3日に発行された新しいガイドラインの下で、以前のグリーンパスの有効性が短縮され、この日付より前に発行されたパスは無効になりました。

政府の勧告によると、グリーンパスは、以前の2回の接種が6か月後に期限切れになった後、政府が承認したCOVID-19ワクチンの追加接種を受けたこと、または病気から回復したことを証明できる人だけが利用できるようになります。

COVID-19から1回または2回回復し、ワクチン接種を受けていない人

は、異なる一連のガイドラインに基づいて、最後の回復証明書の日付から最大6か月間有効なパスの資格があります。回復したが、回復の前後にワクチンを1回だけ接種した人は、来年3月末まで有効なグリーンパスの対象となります。

ワクチン接種後の血清学的検査で陽性と判定された場合でも、1回の投与しか受けていない人はグリーンパスの資格がありません。個人が完全にワクチン接種されたと見なされるために、将来さらにブースターショットが必要になるかどうかは確認されていません。

一方、ワクチン接種を受けた人やイスラエル国外で回復した人は、受けたワクチンの投与回数やイスラエルでの血清学的検査およびPCR検査の結果に応じて、グリーンパスの対象となる場合とそうでない場合があります。

イスラエル保健省のアッシャーサーモン副長官の声明によると、ブースターショットを取得しないことを決定した人々は、24時間前にPCRまたは抗原検査が陰性である場合でも会場に入ることができます。

イスラエルの新しいシステムは、グリーンパスの対象となるために2ショットしか必要としなかった以前のシステムに取って代わります。

「私たちは、誰もが3番目のショットを取得する必要があると信じています。基本的に、まだ行っていない場合は、完全にワクチン接種されていないことを人々に伝えています」とサーモン氏は述べています。

新しい政策により、200万人以上が予防接種パスポートを紛失するリスクがあるため、多数の抗議者が全国のデモでイスラエルの街頭に連れて行くようになりました。

しかし、バーレーンも10月4日にブースターショットの対象となる人々の予防接種状況を変更したため、予防接種パスポートに強硬なアプローチをとるのはイスラエルだけではありません。

その日付の時点で、ブースターショットの対象となる個人は、ブースターを受け取らない場合、王国のデジタルワクチンパスポートであるBeAwareモバイルアプリケーションで予防接種ステータスが「グリー

ンシールド」から「イエローシールド」に下げられます。ショット。

以前は、2回目の接種から2週間後に完全にワクチン接種されたと見なされ、「グリーンシールド」ステータスが与えられました。これは、ショッピングモール、レストラン、映画館、その他の屋内サービスに入ることができたことを意味します。

ブースターショットのトピックは、健康の専門家と専門家を分けたままにしました。

火曜日に、米国食品医薬品局（FDA）の科学者は、同社がCOVID-19感染に対する有効性の低下を指摘した後、Modernaのワクチンのブースターショットを承認する提案に反対していると述べました。

FDAのスタッフは、米国での使用が許可されたワクチンと他の2つのワクチンは、依然として重篤な疾患に十分に耐えていると述べました。

Johnson & JohnsonとModernaはどちらも、FDAが数千万人のアメリカ人にファイザーブースターを認可した後、ワクチンのブースターを許可するよう規制当局に求めています。